

お客様へのお知らせ

- 本機の画面と取扱説明書の内容が異なる場合は、本機の画面に従って操作してください。
- Bluetooth BIP 印刷を使用する場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店へお問い合わせください。
- iOS 搭載機器からは Bluetooth 印刷できません。
- 両面同時原稿送り装置をお使いの場合、原稿をセットした後、10 秒経過すると自動的に原稿給紙トレイが上昇します。上昇するまでの時間は変更することができます。詳しくは、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
- 自動両面原稿送り装置または両面同時原稿送り装置をお使いで、異なるサイズの前稿を一度に読み取る場合や、原稿の種類によっては、読み取り結果に歪みが生じることがあります。
- インディアペーパー（辞書、聖書などで使用される紙）は自動両面原稿送り装置や両面同時原稿送り装置で読み込まないでください。紙づまりの原因となります。
- かんたんコピー機能でコピー動作を中止する場合は、以下の操作を行ってください。
原稿読み取り中：画面内の [ストップ] を押してください。
原稿読み取り完了後：[コピーモード] を押してコピー画面に移動した後、[ストップ] を押してください。
- 両面同時原稿送り装置で、波状のカールがかかった原稿を大量に通紙すると、紙づまりを起こす場合があります。その場合は、原稿の枚数を減らしてください。
- 両面同時原稿送り装置使用時は、原稿ストッパを引き出してから、ストッパを立ててください。お使いの用紙によっては、排紙された原稿が排紙トレイから落下することがあります。
- 両面同時原稿送り装置上部の紙づまり処理後、上カバーのレバーが飛び出していないことを確認してください。
- 両面同時原稿送り装置をお使いの場合、原稿を読み込み中に [ストップ] を押して読み込みを中止したときは、途中まで引き込まれた原稿は引き抜かずに、[リセット] ボタンを押してジョブを終了するか、[スタート] ボタンを押してジョブを完了させてください。原稿を引き抜くと紙づまりエラー表示になります。
- 「無線 LAN/Bluetooth 取り扱い上のご注意」4 ページの「電波干渉に関する注意」の記載を、以下の下線部のように訂正します。
日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置づけており、その使用周波数帯域は 2,400 MHz～2,483.5 MHz です。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局および移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯 2,427 MHz～2,470.75 MHz と重複しています。
- 「ファクスガイド」33 ページ「設置場所」の記載を、以下の下線部のように訂正します。
検索するアドレス帳の保存場所を選択します。[MFP ローカル] を選択すると、本機のアドレス帳および共通アドレス帳の検索が可能です。
- 「トラブルシューティングガイド [ハードウェア編]」26 ページ手順 5 のイラストを以下に訂正します。

